



東京浅草中央ロータリークラブ 週報

〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL: http://www.asachu-rc.jp

2013 - 2014 年度テーマ

R.I. テーマ 「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」
R.I. 会長 ロン D・バートン
地区ガバナー 吉 田 建 二
クラブテーマ 「参加し行動しよう」
クラブ会長 藤 掛 靖 元

本日の卓話

夜間例会 クリスマス家族会

今後の卓話予定

12/25 休 会 (年末)
2013 年
1 / 1 休 会 (新年)
1 / 8 浅草神社 正式参拝
1 / 15 上半期事業報告 各委員長
1 / 22 「ファッションについて」 (株)アマガサ デザイナー 一條智恵美 様
1 / 29 「100 年企業について」 日本経済大学教授 後藤俊夫 様



2013 年 12 月 18 日

第 1342 回例会

会長 藤 掛 靖 元
幹事 伊 石 佳 高



1 月結婚記念日

6 日 (40周年) 古谷ご夫妻 ・ 8 日 (42周年) 太田ご夫妻
20 日 (43周年) 長島ご夫妻

前回 (12/11 1341 回例会) の記録

12/11 来 訪 者 紹 介

◆ゲスト 3名 トウマコンサルタンツグループ 公認会計士 東京銀座ロータリークラブ会員 藤 間 秋 夫 様
トウマコンサルタンツグループ 公認会計士 井 関 臣 一 朗 様
(株)アラミス 嶋 田 正 敏 様
◆ビジター 0名

出 席 報 告

総会員数	休 会	出席免除	出 席	欠 席	出席率	修 正 出 席 率
48 名	3 名	3 名	37 名	6 名	86.05%	1339 回例会修正 欠席 1 名・出席率 97.62%

東日本大震災で被災された皆様に一日も早い平和と復興がおとずれますようにお祈り申し上げます。このような時こそ、我々ロータリアンは『五大奉仕』を実行・実践しましょう。明日の日本と世界はみんなの手の中に！

会長報告 < 藤掛会長 >

・本年度のクラブテーマ「参加し行動しよう」の基、「被災地復興支援」「ローターアクトの活動について理解を深める」「100年企業老舗に学ぶ」「増強」と4つの方針を掲げて現在まで進めてまいりました。この中の「老舗に学ぶ」につきましてはトウマコンサルタンツグループが毎年開催して

おります「100年企業サミット」がその発想の原点です。この企画は、本日卓話をさせていただき藤間先生の講演の後、老舗企業4社の社長様に登壇いただきパネルディスカッションを行うもので大変参考になりました。そこでこれをクラブの皆様にフィードバックできないかと考え方針の一つに入れさせていただきました。これまで2社

の老舗企業の社長様に卓話をしていただき、本日藤間先生より100年企業の秘訣について話して頂く訳ですが、来年に入りまして老舗の研究しておられる大学教授の方ともう

一社老舗企業の社長様に卓話をしていただく予定です。皆様の企業経営の糧としていただければと思います。

幹事報告<伊石幹事>

・先日もお話致しましたが、上半期事業報告書の提出を12月25日までに幹事伊石宛にメールにてご提出願います。FAXでもOKです。

・上野RCより来年2月3日(月)に行われる3クラブ合同例会のお知らせが来ました。上野精養軒にて12:30~13:45まで行われます。宜しく願い致します。

委員会報告

<社会奉仕委員会 上野委員長>

・台風26号による大島の大水害の義援金をお願い致します。(今週と来週でお返しします。)

<米山奨学・ロータリー財団 宮村委員長・山尾委員長>

・今期2回目の米山・ロータリー財団積立会の集金をお願いします。ご協力の程宜しくをお願いします。

次年度 第1回「被選理事・役員会」報告

<審議事項>

1. S.A.A.選任の件
……………太田富美夫氏が選任された。

<協議事項>

1. 創立30周年記念事業準備委員会が設置され、委員長に海内栄一氏が就任した。

ニコニコボックス

<藤掛、伊石>

・藤間秋男様、本日の卓話よろしく願い致します。

<宮村、岩戸、山尾、松崎、藤田、海内>

・本日の卓話「100年企業の法則」TOMAコンサルティンググループ(株)代表取締役理事長・東京銀座RC会員 藤間秋男様、宜しく願い致します。

<藤掛>

・結婚記念の花束ありがとうございました。本年で25年です。よく保ちました。

<伊石>

・結婚記念日に花束を戴きまして誠に有難うございました。

<渡辺、伊石、長沼、上野、上原>

・100%出席の表彰をして戴きまして有難うございました。

<藤掛>

・小池さん、先日はありがとうございました。お気遣いに感謝です。

<原田、渡辺、柘、岩田、海内、大塚、斎藤、尾泉、植木、上野、山尾、矢野、長沼、宮村、折原、潮田、松崎、後上、浜中、永井>

・アラミスの島田さん、素敵なピンバッチありがとうございました。

<松崎、松本>

・サッカーワールドカップ ブラジル大会 組み合わせC組に決定。今回はベスト8に入れるようガンバッテ下さい。

<天笠、大塚、太田、松崎、柘、原田>

・プロゴルファー宮里優作選手、11年目にし初優勝おめでとう。

「どんな危機にも打ち勝つ、100年企業の法則」



TOMA コンサルタンツグループ(株)代表取締役 理事長
公認会計士
税 理 士
東京銀座ロータリークラブ会員

藤 間 秋 男 様

私が企業のコンサルティングに携わって40年。現在は150名の専門家集団を率いて、お客様もおかげさまで1000社ほどになりました。これまで業績の良い会社、悪い会社をいろいろ見てきて、老舗企業について沢山取材をしてきました。そのような経験から、学んだことを今日はお話させていただきます。

【人を創る会社は生き続ける】

100年続く企業には、およそ4代の社長が必要です。4代の社長がみな立派に経営を続けていかなければ、100年企業は創れません。その意味でいえば、100年企業への第一の秘訣は、人を創っていくことだと思います。

会社は元来つぶれるようにできています。日本経済新聞のデータでは、創業した企業が10年経て残るのはたった5%です。30年経つと、1%以下になるといふ説もあります。

30年経つとつぶれる理由は、商品もお客様も社員も変わるからです。お客様の求める価値や、お客様自体も入れ替わり、企業が買収、合併されることも珍しくない時代です。さらに社員も入れ替わります。

したがって、30年も経つと、会社はすべて変わるので。だから会社はつぶれる。さらに重要なのは、社長はいつか亡くなるということです。衰えもします。

ならば、どうやれば会社は100年続くのか。

まず経営者の方に考えてもらいたい。「自分の代だけで会社が終わっていいのか」

みなさんの会社が存在することで、社員数の何倍もの人が生活しています。にもかかわらず、会社をなくしていいのでしょうか。社員とその家族だけでなく、取引先も、仕入先も、会社がなくなると困ります。会社は社会にとって存在理由が必ずあります。

自分の代で終わらせないために人を創り続けること、これが100年企業へのスタートだと私は思います。

※ 100年企業を創るための10か条

1. 「明るく元気前向きに」絶対に諦めない気持ちを持つ
2. 「打つ手は無限」がすべての突破口
3. 「働きがいのある会社づくり」で、社員が自主的に動く
4. 社員、お客様と共有する経営理念で利益倍増
5. 絶対に儲かる仕組みづくり、成長する仕組みづくり
6. 顧客を分析し、未来客を獲得する 打つ手 300 大公開
7. 目標達成を具体化するための経営会議（コミット）
8. 人事制度を整備し、評価をもとに社員の成長を促す仕組み
9. 財務・税務に強くなり、お金の働きを把握する
10. 会社の将来を決める経営計画策定（必ず利益が出る）

ほんの一言

“ロータリーライフを楽しむ”と言われるが、夫々の性格や年齢によって、様々と思われる。9月の誕生祝のスピーチで79歳になるF氏の「何も活動はできないが、年齢を重ねるごとに出席が楽しくなっている。次代の者を出せるまでは頑張りたい……」との要旨だったが、久し振りに胸が熱くなった。ところで、お浚い中の小唄の歌詞をご披露したい。

“優しくされればつけあがり 気に入らなければ怒りだし 小言を云われりや直に泣き 浮気をされれば角をだす さりとて殺せば化けてでる ほんとに女はこわいもの けれども居なけりや困るでしょう みなさん精々ご用心 アァ怖やの怖やの……”

諸君、女房殿を精々、労りましょう。

酔蜻蛉